

堀井理事長新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。(一社)全国流通商適正化協会理事長の堀井でございます。会員の皆様方には、令和 6 年の新春をご家族お揃いで清々しくお迎えになられたこととお慶び申し上げます。また、昨年は、消費税のインボイス制度への対応など全流商の業務各般にわたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、一昨年 5 月に設立した「全国流通商団体研究会」を、昨年 4 月に「一般社団法人全国流通商適正化協会」として再スタートし、現在、正会員として 41 都道府県において 17 団体のほか個社として 40 商社が加入している現況でございます。

また、先にお知らせしたとおり、全流商の活動の主体となる専門委員会の設置につきましては、三度、理事会において審議検討し、専門委員会設置規程を定めて経営事業委員会及び総務財務委員会の 2 つの委員会を設けて、取り決めた検討課題について調査研究することとなり、正会員の皆様方から委員の募集を行っているところであります。

デフレ脱却と賃金の上昇を定着させるための定額減税や企業の賃上げを後押しするための税制の拡充などを基本とする税制改正大綱が示されたところですが、遊技業界は、新規則機やスマート遊技機等の設備投資負担に加えてコロナ禍や新紙幣改刷の対応など、厳しい経営環境の中にあります。

このような時期であればこそ、正会員全員が一致団結して諸課題に対処していくことが肝要でありますので、引続きのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、業界が変革の時期を迎えようとしておりますが、今年の干支は「甲辰（きのえ・たつ）」です。甲辰は、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起の良さを表していると言われております。こうした意味合いから、昇り龍のように運気が上り調子になることを期待し、良い年になりますように皆様方のご健康と益々のご繁栄をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。